

平成30年度（平成30年4月1日～平成31年3月31日）  
放課後等デイサービス事業所向け自己評価結果（公表）

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			子どもの成長などを考えると十分ではないと感じる時もありますが、利用人数や活動内容に応じてスペースを確保し、安全に配慮しています。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			配置基準は満たしていますが、今後も適切な職員配置を確保しながら、皆様のニーズに対応できる体制に努めていきます。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			特別支援学校を利用させていただいていますのでほぼバリアフリー化となっています。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			業務内容の改善については常勤専従職員が中心となって平日の午前中に話し合い、事業開始前には非常勤専従職員等も含め、話し合う場を設けるようにしています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			昨年度から実施させていただいているアンケート調査の結果は職員内で協議し、改善点については順次できることから取り組みをしています。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			昨年度から実施させていただいている評価結果については法人のホームページに掲載し、公開しています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	第三者評価を実施しておりません。今後検討していきます。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			研修については、経験年数や資格等に応じた研修を受講し、資質向上のため研修機会を確保しています。
適切な 支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			ご家族との定期的な面談、学校との情報交換など関係機関と連携を図りながら計画を作成していきます。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			アセスメントツールを利用しています。そのうえで見直し等を行いながら有効活用できるように工夫をしています。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			活動プログラムについては、子どもたちの課題など児童発達支援管理責任者の助言を受けながら、常勤専従の職員が中心となって作成しています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			日案を作成するとともに、日々、少人数で課題に取り組むグループ活動を取り入れるなど、活動プログラムがマンネリ化しないように工夫しています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			平日は時間も短く活動に限りはありますが、学校代休日や長期休暇時には普段取り組めない活動を提供し、有効活用できるように工夫しています。
14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			一人ひとりの目標に沿った計画を立案したうえで、個別、集団活動に取り組んでいます。	
15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			支援を開始する前には当日の日案に沿って支援内容等を勤務する職員で確認し、前日の子どもたちの様子や活動内容等も合わせて振り返りをしています。	

平成30年度（平成30年4月1日～平成31年3月31日）  
放課後等デイサービス事業所向け自己評価結果（公表）

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
適切な支援の提供	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			日々、支援終了後には職員間で当日の振り返りなどを行い、情報を共有するようにしています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			日々の記録は不備のないように徹底しています。その記録が放課後等デイサービス計画の評価や見直し等に繋がるように正確に記録するようにしています。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			保護者と定期的にモニタリングの面談を実施し、必要に応じて計画の見直し等に繋がっています。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	○			ガイドラインの総則を基に支援に取り組んでいます。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			児童発達支援管理責任者が中心となって会議に参加しています。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			事業のため借用している特別支援学校とは月1回連絡会議を実施しています。また、学校の送迎時には担当教諭からその日の子どもたちの様子などをお聞きし、情報を共有できるようにし、必要に応じて子どもたちが所属している学校とは連絡調整するように努めています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○		主治医からの連絡は家族を通していただいておりますが、必要に応じて主治医との話し合いを設けています。また、所属している学校との連絡体制に不備がないようにしています。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			利用申請が出された時点で保護者から同意をいただき、保育園等を訪問し情報が共有できるようにしています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			障害福祉サービスを事業所等へ移行する際、保護者から同意をいただき、情報を提供しています。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			児童発達支援センターの相談員から情報の提供や助言をいただくことがあります。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	児童館や市民図書館で行われている読み聞かせなどには参加することはありますが、計画的に交流する機会はまだまだしていません。今後検討していきたいと思っております。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	○			自立支援協議会の部会には児童発達支援管理責任者が参加しております。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			保護者の皆様と共通理解を得るために、子どもの送迎時間などを利用して、日頃の様子を伝えるようにしています。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○	子どもとの関わり方など助言させていただくことはありますが、ペアレントトレーニング等具体的なプログラムは提供していません。	

平成30年度（平成30年4月1日～平成31年3月31日）  
放課後等デイサービス事業所向け自己評価結果（公表）

		チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	改善目標、工夫している点など
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			利用契約をしていただく際、重要事項説明書等を用いてご理解していただくように説明をしています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			保護者の皆様からの相談には適時対応させていただいています。必要に応じて関係機関とも連携をしています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	父母会等の組織はありません。年1回保護者懇談会を開催し、要望等をお聞きする場にしていますが、保護者同士の連携を支援するまでにはなっていません。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			利用契約の際には法人の苦情解決について説明させていただいております。日頃から疑問に思われていることや要望、意見等については速やかに対応するように心がけています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			年1回会報を発行しています。行事予定等についてはその都度紙面等で連絡させていただいています。
	35	個人情報に十分注意しているか	○			利用契約時に個人情報の取扱いについて同意書をいただいておりますが、その都度注意、配慮をしています。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			本人が理解できる伝達方法（イラスト、写真、文字など）を使いコミュニケーションがとれるように配慮しています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			年1回事業所全体の行事として開催しています。また、地域で行われているイベントへ積極的に参加しています。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○		マニュアルについては作成していますが、変更等について周知されていないこともあります。今後周知するように努めます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			それぞれの災害を想定した訓練は実施しています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			研修への参加や、職員会議、日々のミーティングなどで不適切な支援がされていないか確認するようにしています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか		○		対象となる子どもはいませんが、今後も身体拘束については十分注意をしていきたいと思っております。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			必要に応じて医師の指示書をいただくように対応することとしています。
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			事例報告書は作成しています。事例が発生した時には、その日のミーティング若しくは翌日の職員朝会の場で情報を共有するようにしています。また、職員会議の場において振り返りをし、事故につながらないように職員間で意識統一を図っています。	